

◆ 「キャリアデザイン」に関する協働での研究の第一歩 7/28~7/31



◆ ジェンダーについてディスカッション

私たちの研究テーマである「女性のグローバルなキャリアデザイン」に即した授業が始まり、今日はジェンダーをテーマに議論しました。日米独の生徒たちによる国を越えたディスカッションとなり、専門的な英単語の理解や質問への返答に苦労しながらも、みんな意欲をもって取り組んでいます。先進3か国の女性の社会進出の現状を共通理解する場となりました。

◆ 『自分を形づくるもの』についてのディスカッション

それぞれが自分のルーツ（祖先）について、また自分の人生のターニングポイントについて発表し合いました。ルーツから自分を考えるという視点は私たちにとって普段あまり意識しないことであったのでテーマ設定自体が新鮮でした。本校は Showa Global School Identity の最初に “Know Thyself” を掲げていますが、欧米人にとってはルーツが自分を形作る重要な要素の一つであることを学びました。

最終的に「自分自身が、自分の子孫に尊敬されるような人になりたい」ということが、3か国共通の意見でした。子孫のためにも、しっかりとした将来設計が重要であるということを実感しました。



☆7/30 土曜日はアスレチックフィールドでグループごとにミッションを達成していくという activity に取り組みました。



☆7/31 日曜日にはアメリカ人の学友の家を訪問しました。お母様に女性の社会進出についてご意見をうかがうことができました。